



# 学校だより

令和5年6月30日  
横浜市立茅ヶ崎東小学校  
校長 宮本 仁志  
都筑区茅ヶ崎東2-11-1  
Tel 943-0802・0803

## 分母と分子の間の線は？

校長 宮本 仁志

10数年前に5年生の担任をしているときの話です。分数の授業をしているときに、クラスの児童から質問がありました。「先生、分数の分母と分子の間の線の名前はなんと言いますか？」と聞かれました。私も知らなかったので、クラスのみんなで考えました。返ってきた子どもたちの答えは、「知らない」「聞いたことがない」「気にしたことなかった」「横棒じゃないかな」「分数線かな」「ただの線じゃないの」「名前なんてあるの」でした。その中で一番面白かった答えは、「分父」です。理由は「母と子に挟まれているから」で、子どもたちも笑っていました。

私は、子ども時代から算数・数学は大好きでした。大学時代も、算数科に在籍していましたが、この線の名前は教わったことがありません。教わったという人は、なかなかいないのではないのでしょうか。今回は、「次の授業までに調べておくね」と伝えたところ、次の日に、何人かの子どもたちが調べてきてくれました。その当時でも、家にあるパソコンのインターネットを利用して調べられるようになっていました。この線の名前は、「分数線」など諸説あるようですが、インターネットでは、「Vinculum (ビンキュラム)」というラテン語であると出ていました。日本語に訳すと「括線 (かっせん)」となります。

「括る (くくる)」「絆」「つなぐ」という意味があるそうです。分母と分子をつなげて括り、ひとつの分数としてあらわされるということになるようです。

さて、改めて考えてみると、子どもたちと保護者の皆様、地域の皆様をつないでいるもののひとつが学校であり、この「括線」の役目も果たしていると思います。学校は、日々の教育活動や子どもたちの様子を、学校だよりや学年だよりなどのいろいろな方法で、保護者や地域の皆様に伝えています。「学校やPTAからのプリントやお知らせの紙類が多くて大変」という声も聞かれますが、子どもたちの健やかな成長を支えていくための、子どもたちと学校、家庭、地域の関係をつなぐ「括線」だとお考えいただき、読んでいただくと嬉しいです。また、新たな試みとして、リーバーを利用したお手紙の配布も行い、少しでも読みやすいようにしていきたいと考えています。また、最近の茅ヶ崎東小学校のホームページの中の、学校や子どもたちの様子を伝える「学校日記」のコーナーを頻繁に更新しています。横浜市のYYネットの「学校探検」から茅ヶ崎東小学校のホームページを閲覧することが出来ます。また、スマホでも簡単に検索できますので、機会がありましたらご覧いただくと幸いです。

分数は、分母だけでも分子だけでも成り立ちません。「括線」があってこそ分数として成り立っています。子どもたちへの教育も、学校だけでなく、家庭や地域の方々とお互いが協力し合って進めていくものだと思います。本校の学校教育目標である「笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子」を皆様とともに育んでいきたいと思っています。今後も、本校の教育活動に、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。